

社会科の学習（1年生）

1 教科の目標

毎日、世界のいろいろな場所でいろいろなことが起こっています。そのような、変化がはげしい世の中を、みなさんがよりよく生きていく力を身につけるために、社会科を学びます。社会科の授業では、1・2年生で、日本を中心とした歴史〔歴史〕や世界と日本の様子〔地理〕、3年生の6月からは、現代社会のしくみや様子〔公民〕を学びます。

2 学習の仕方

(1)学習の用具をきちんと用意しよう！

社会の授業で使うもの…教科書・ノート・地図帳・資料集・ワーク（問題集）・色鉛筆

(2)ノートやファイルを上手に使おう！

ノートは黒板の板書を写すだけでなく、先生が話した内容や友達から聞いたりしたことを書き込んだりするなど、後で見返した時に役立つノートを作る工夫を身につけましょう。授業で学習したワークシート、定期テストや単元テストは必ずファイルにとじておきましょう。（ファイルは授業の最初に配られます。）

(3)話し合いに積極的に参加しよう！

先生や友達の話をしっかり聞き、自分の考えと照らし合わせる習慣をつけましょう。また、話し合う活動では、積極的に自分の考えを言葉にして伝えましょう。

(4)わからないことは自分で調べてみよう！

授業で興味を持ったことやわからなかったことは、自分自身でどんどん調べましょう。先生に聞くよりも、友達から聞いたり自分で調べた方が頭と心に残ります。

3 学習予定〔地理と歴史を、単元で区切って交互に勉強していきます〕

学期	学習内容	アドバイス	評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> 世界の姿〔地理〕 歴史のとらえ方と調べ方〔歴史〕 世界各地の人々の生活と環境〔地理〕 原始・古代〔歴史〕 	<ul style="list-style-type: none"> 地理と歴史それぞれの授業の学び方をつかもう。 ノートを工夫する習慣をつけよう。 ワークを活用して家庭学習の習慣をつけよう。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の活動 ノート・提出物 単元テスト 期末テスト など
夏休み	<ul style="list-style-type: none"> ワーク……勉強する範囲は授業中に指示します。 その他……1学期の学習の状況に合わせて宿題を出します。 		
2	<ul style="list-style-type: none"> 世界の諸地域〔地理〕 中世〔歴史〕（室町時代まで） 	<ul style="list-style-type: none"> 州ごとの大まかな地域的特色をつかもう。 鎌倉幕府と室町幕府、それぞれの特色をつかもう。 	<ul style="list-style-type: none"> 夏休みの課題提出 授業中の活動 ノート・提出物 単元テスト 中間・期末テスト
冬休み	<ul style="list-style-type: none"> ワーク……勉強する範囲は授業中に指示します。 ※今年の重大（十大）ニュースを見て、1年の社会の動きを振り返ろう。 		
3	<ul style="list-style-type: none"> 世界の様々な地域の調査〔地理〕 中世、近世〔歴史〕（江戸時代のはじめまで） 日本の姿、世界と比べた日本の地域的特色〔地理〕 	<ul style="list-style-type: none"> 自分で調べる課題を見つけてみよう。 信長、秀吉、家康の政策の違いを調べよう。 世界的に見た日本の位置と特色をつかもう。 	<ul style="list-style-type: none"> 冬休みの課題提出 授業中の活動 ノート・提出物 単元テスト 学年末テスト等

4 学習教材

- 教科書 中学生の地理（帝国書院） 中学生の歴史（帝国書院）
- 地図帳 中学校社会科地図（帝国書院）
- 資料集 アクティブ地理総合（浜島書店） 学び考える歴史（浜島書店）
- ワーク よくわかる社会の学習 地理・歴史（明治図書）
- 横書きノート2冊〔地理用・歴史用〕 ファイル1冊



5 評価の観点と方法

観 点	内 容	評価の方法
社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的事象に対して関心を持ち，意欲的に学習に取り組んでいる。	ワークシート 提出物，観察
社会的な思考・ 判断・表現	地理的・歴史的なことがらを，広い視野に立って，いろいろな見方・考え方をすることができる。また，それらをわかりやすくまとめ，発表している。	ワークシート 提出物，観察 単元テスト 定期テスト
資料活用の技能	さまざまな資料を正しく読み取っている。また，目的に応じて資料を集めたり選んだりして，まとめや発表をするときに活かしている。	ワークシート 提出物，観察 単元テスト 定期テスト
社会的事象につ いての知識・理解	社会的事象の意義や特色・関連を理解し，その知識を身につけている。	単元テスト 定期テスト

※「社会的事象」とは、『世の中でおこる（おこった）様々なできごと』のことです。

6 学習のポイント

(1)まずは何より授業が中心！

先生がお話することを中心にしてすすめる講義タイプの授業では，きちんとノートをとることが大切です。家で見返したときに何を勉強したのかが自分でわかるノートにしていきたいでしょう。

<p>ノートの例</p> <p style="text-align: center;">黑板に書いたことはここに書こう！</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>聖徳太子の政治 ○天皇中心の国家をめざす</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>大化の改新⁶⁴⁵</p> </div>		<p>メモらん</p> <p>先生の話から 自分で必要だと思った ことを ここにメモしよう！</p>
--	--	---

講義タイプの授業でも，地図やグラフ，年表などを作成する作業の時間が入ることもあります。手持ちの資料を使って意欲的に取り組みましょう。また，先生から意見を求められたりすることもあります。そのときには積極的に手をあげて発言しましょう。

(2)ワークを使っての復習が大切！

家庭学習において，社会科は，予習することよりも復習に力を入れて下さい。授業があったその日のうちに復習すると効果的です。その際，ぜひワーク（問題集）を使ってください。ワークには，確認問題だけでなく資料を使った応用問題，巻末に重要語句チェックなどものっていますので，単元テストや定期テスト前にも役立ちます。

また，ワークは定期的に提出してもらうこととなりますので，『あとでまとめてやればいいや。』と放っておくと大変なこととなります。とにかく，こまめに復習することが大切です。

家庭学習（復習）のすすめ方の例

- ①教科書を読む。（重要語句や地名，時期などを地図帳や年表を見て確認しながら…）
- ②ノートを見て，授業を思い出しながら必要なことを教科書に書き込む。
- ③年表・地図・資料を見ながら授業で学んだことを頭の中で整理する。
- ④ワークを何も見ないでやってみる。
- ⑤答え合わせをして，わからなかったところや間違えたところを教科書や地図帳で確認する。
- ⑥もう一度教科書を読む。

※1学期の期末テストまでは，この方法で家庭学習に取り組んでみましょう。それから自分なりにアレンジしてみるとよいと思います。